霧島山周辺の地殻変動*

Crustal Deformations around Kirishima Volcano

国土地理院

Geospatial Information Authority of Japan

第1図、第2図は、霧島山周辺における GPS 連続観測結果である。第1図上段には山体を取り囲む 基線の配置を、下段には第1図中に表示されている観測点の整備の履歴を示した。第2図は時系列グ ラフで、第2図(a)~(c)では左列に2006年10月1日~2011年8月30日までの約4年11ヶ月の時 系列を、右列に2009年10月1日~2011年8月30日までの約1年11ヶ月間の時系列グラフを示した。 2009年12月から山体の膨張を示す基線の伸びが始まり2011年1月にいたり、1月26日の噴火以降 に急速な短縮が見られ、2月1日以降は再び噴火前とほぼ同じ速度での基線の伸びが続いていること が確認できる。

第3図、第4図は、霧島山周辺の GEONET 観測点間の基線長について、1次トレンドを除去した時系 列グラフである。第3図は基線の配置図、第4図が時系列である。霧島山を囲む基線で2009年12月 から伸びが始まっているが、他の基線ではトレンドからの差はほとんどなく経過していることがわか る。

第5回は、霧島山周辺の電子基準点、機動観測点、気象庁のGPS 観測点および防災科学技術研究所 のGPS 観測点における水平変動の観測結果である。上段は基準期間を2011年2月1日から2月11日 の11日間、比較期間を2011年8月21日から8月31日の11日間にとったもので、噴火後の約6ヶ月 半の山体膨張を示す図である。下段は、基準期間を2009年12月1日から12月11日の11日間、比較 期間を2011年1月16日から1月26日の11日間にとったもので、噴火前の約1年1ヶ月間で膨張し た量を示す図となっている。2011年8月末時点で、今回の噴火前の膨張量の半分を超えるような山体 の膨張が噴火後にも進んでいることがわかる。

第6図(a)~(c)は長期的な地殻変動の推移を見るための図である。基線毎に左列に基線長、東西成 分、南北成分、上下成分の時系列を、右列に90日間のデータを用いた各成分の変化速度をプロットし たものである。データ期間は最も長期の観測データがある「えびの」-「牧園」基線(第6図(a))で 1997年から、他の基線は2003年から2011年8月30日までである。「えびの」-「牧園」基線では 観測開始当初の1997年から短縮傾向が続いていたが、2006年ころから小幅な増減があり、2009年12 月から明瞭な膨張が始まったことが確認できる。右列の変動速度では、2003年~2005年にかけての変 動速度を標準と見なして「Linear Trend」の線を入れてあるが、いずれの基線でも、2009年12月ま では大きなトレンドの変化がなかったことが分かる。また、2011年1月噴火時の急速な収縮の後、2011 年2月以降の変化速度は噴火前の変化速度のレベルとほぼ同じであることも確認できる。

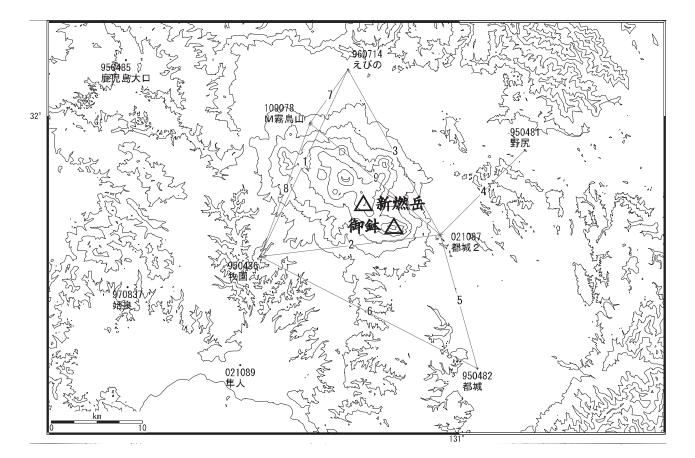
第7図、第8図は GEONET 観測点、気象庁および防災科学技術研究所の GPS 観測点における地殻変動 から、茂木ソースを仮定して変動源を推定した結果である。観測値と推定値のベクトルを表示してお り、上段が水平変動、下段が上下変動の比較である。噴火後の収縮が一段落した2月以降の、膨張が 見られた期間を通算して変動源を推定したもので、基準期間を2011年2月1日から15日間、比較期 間を2011年9月1日からの15日間にとっている。図中に説明があるように、噴火前の膨張源¹¹とほ ぼ同じ韓国岳北西の水平位置に球状膨張源を置いてインバージョンによるモデル作成を行ったが、モ

*2011年11月15日受付

デルによる推定値と観測値との整合性があまりよくないため、深さ9.5kmの球状膨張源の他に、北西-南東方向のダイクを加えて再推定を行った。ダイクの深さは約3.2kmと推定された。なお、新燃岳直 下にも球状膨張源を置き同時に膨張量を推定しているが、こちらの寄与はあまりないという結果にな った。膨張量は7ヶ月間で約8百万 m³強と推定され、毎月約百万 m³強という膨張速度が噴火前とほぼ 同じことから、深部へのマグマ蓄積がコンスタントに進んでいることが想像される。第8図はダイク を置かずに球状膨張源2つのみで推定した結果を参考に示した。水平変動で、モデルによる計算値と 観測値の一致があまり良くない。

【参考文献】

1)国土地理院(2011):霧島山の地殻変動,火山噴火予知連絡会会報,108,197-220.

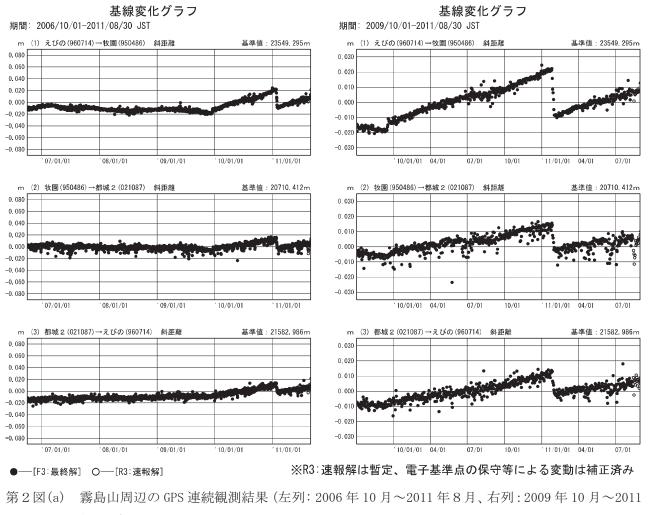


霧島山地区の各観測局情報

点番号	点名	日付	保守内容
950486	牧園	19981211	アンテナ交換
		20080523	周辺伐採
		20100302	レドーム開閉
		20101102	周辺伐採
960714	えびの	20080910	周辺伐採
950482	都城	20101110	周辺伐採
109078	M霧島山	2 0 110203	新設

第1図 霧島山周辺の GPS 連続観測基線図(上段:基線図、下段:整備履歴)

Fig.1 Site location map of the GPS continuous observation network around Kirishima Volcano; (Upper) Site location map, (Lower) History of site maintenance.



年8月)

Fig.2 (a) Results of continuous measurements of the GPS around Kirishima Volcano; (left) from October 2006 to August 2011, (right) from October 2009 to August 2011.

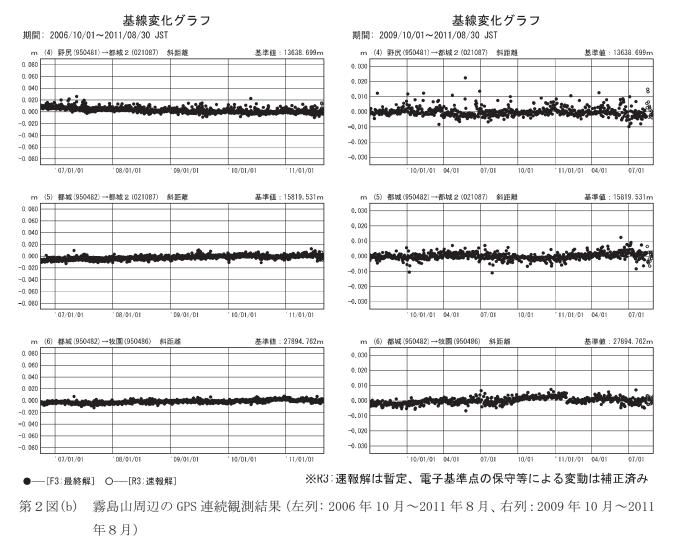
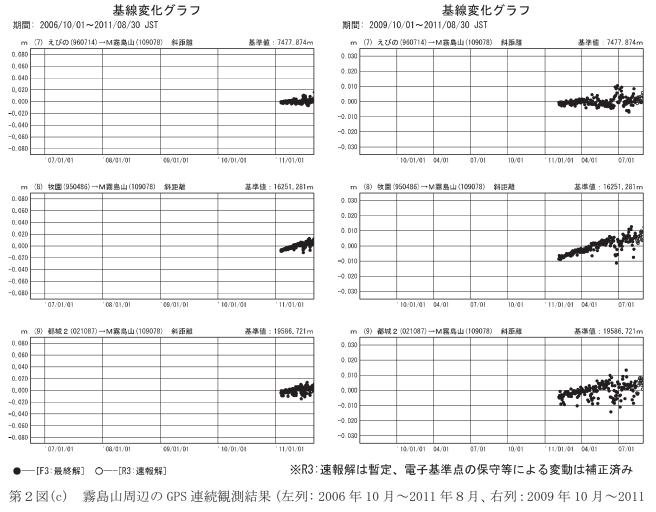
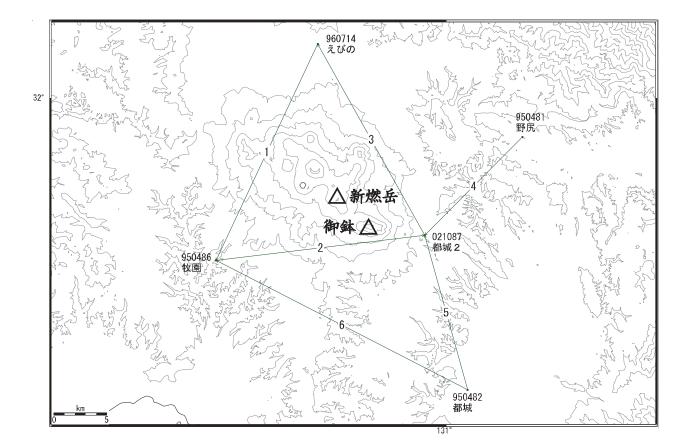


Fig.2 (b) Results of continuous measurements of the GPS around Kirishima Volcano; (left) from October 2006 to August 2011, (right) from October 2009 to August 2011.



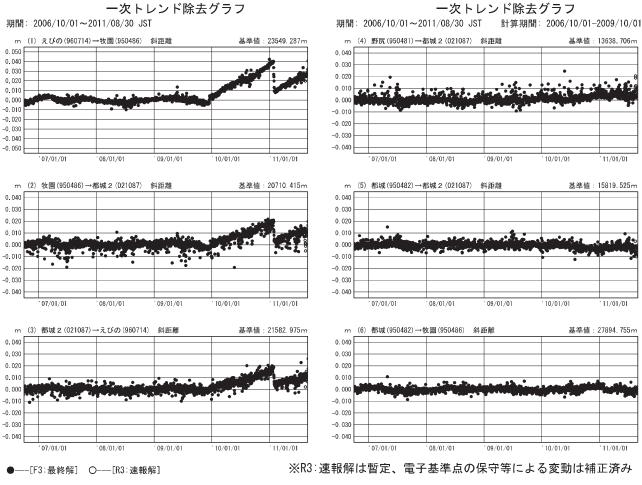
年8月)

Fig.2 (c) Results of continuous measurements of the GPS around Kirishima Volcano; (left) from October 2006 to August 2011, (right) from October 2009 to August 2011.



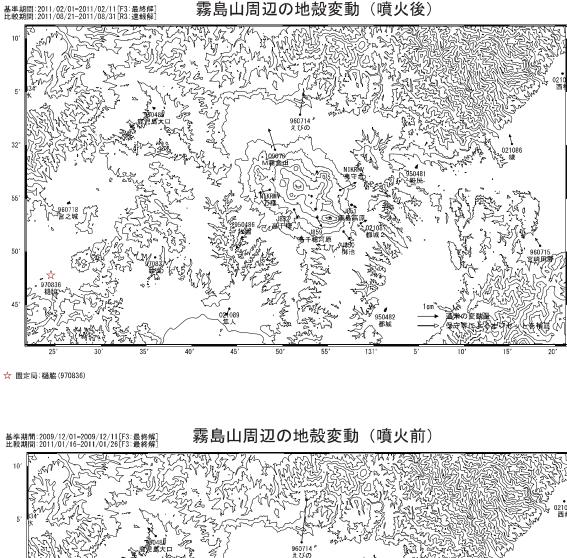
第3図 霧島山周辺の電子基準点における GPS 連続観測基線図

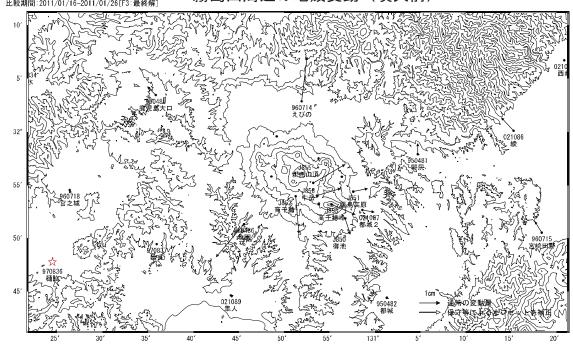
Fig.3 Site location map of the GPS continuous observation network around Kirishima Volcano.



第4図 霧島山周辺の GPS 連続観測結果・一次トレンド除去(2006 年 10 月~2011 年 8 月)

Fig.4 Results of continuous measurements of the GPS around Kirishima Volcano, time series after removing linear trend; from October 2006 to August 2011.



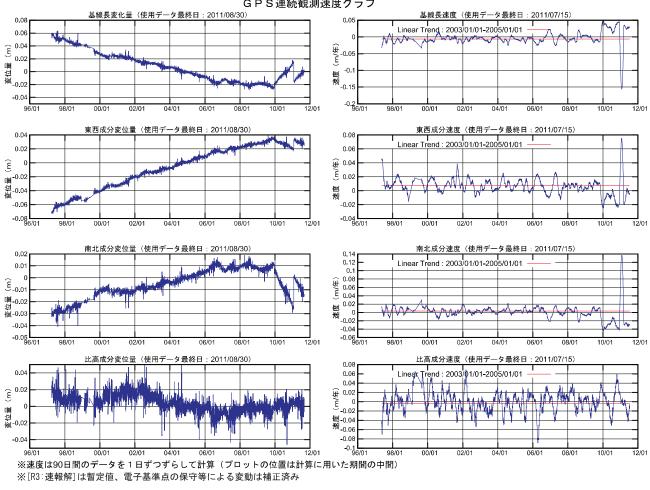


☆ 固定局:樋脇(970836)

第5図 霧島山周辺における GPS 観測点の水平変動ベクトル図(上段:2011年2月~2011年8月、下段: 2009年12月~2011年1月)

Fig.5 Horizontal displacement of GPS continuous observation stations around Kirishima Volcano; (Upper) from February 2011 to August 2011, (Lower) from December 2009 to January 2011.

^{※[}R3:速報解]は暫定値、電子基準点の保守等による変動は補正済み

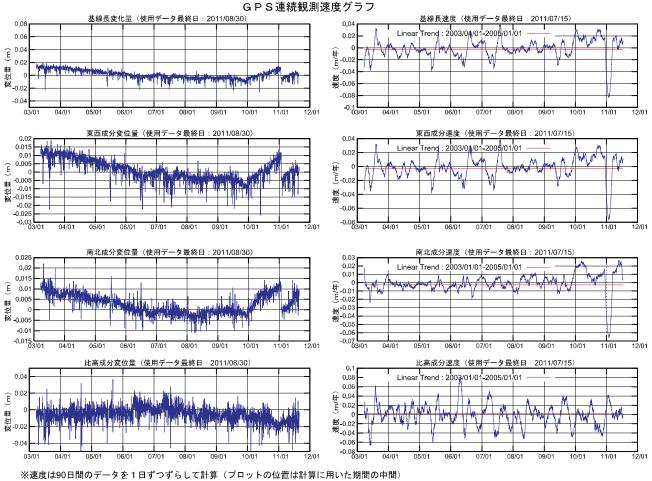


えびの (960714) - 牧園 (950486) GPS連続観測速度グラフ

第6図(a) 霧島山周辺の GPS 連続観測結果(左列:各成分時系列、右列:各成分変化速度・90日平均)

Fig.6(a) Results of continuous GPS observation around Kirishima Volcano; (Left) Baseline length, E-W component,

N-S component and Relative height, (Right) Time series of velocity for the baseline length by 90 days moving averages.



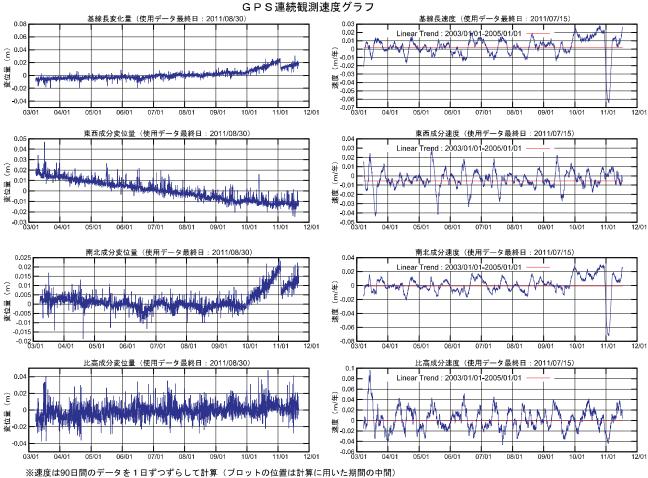
牧園 (950486) - 都城 2 (021087)

※[R3:速報解]は暫定値、電子基準点の保守等による変動は補正済み

第6図(b) 霧島山周辺のGPS連続観測結果(左列:各成分時系列、右列:各成分変化速度・90日移動平均)

Fig.6(b) Results of continuous GPS observation around Kirishima Volcano; (Left) Baseline length, E-W component,

N-S component and Relative height, (Right) Time series of velocity for the baseline length by 90 days moving averages.



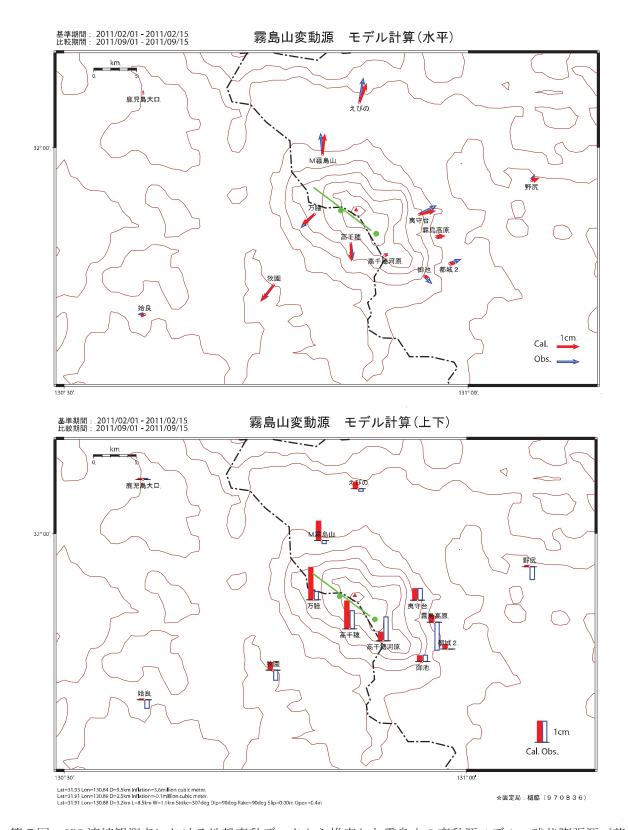
都城2 (021087) - えびの (960714)

※迷及は90日间のテータを1日すつすらして計算(ブロットの位置は計算 ※[R3:速報解]は暫定値、電子基準点の保守等による変動は補正済み

第6図(c) 霧島山周辺のGPS連続観測結果(左列:各成分時系列、右列:各成分変化速度・90日移動平均)

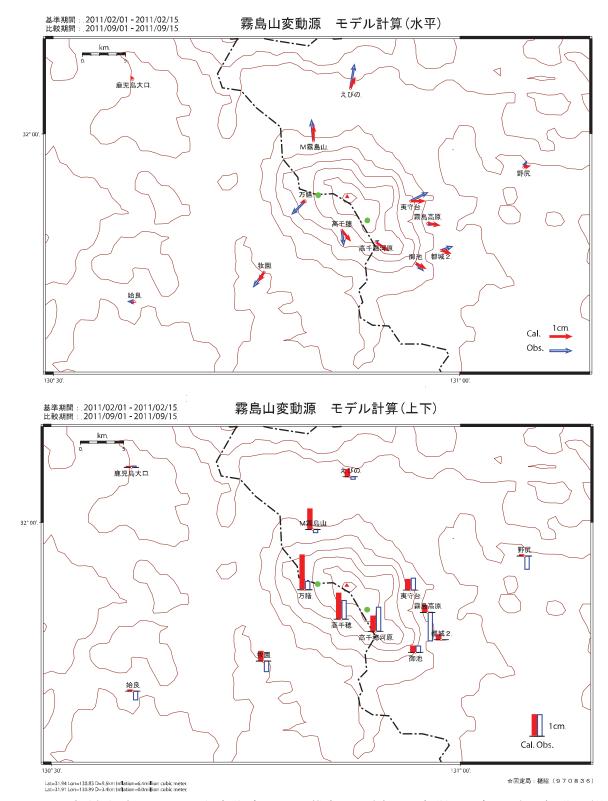
Fig.6(c) Results of continuous GPS observation around Kirishima Volcano; (Left) Baseline length, E-W component,

N-S component and Relative height, (Right) Time series of velocity for the baseline length by 90 days moving averages.



第7図 GPS 連続観測点における地殻変動データから推定した霧島山の変動源モデル、球状膨張源(茂木 ソース)とダイクを仮定(2011年2月~2011年8月、上段:水平変動、下段:上下変動) Fig.7 Source model of Kirishima Volcano estimated from crustal deformation observed by GPS continuous observation stations around Kirishima Volcano from February 2011 to August 2011, with Mogi sources and a

dyke. (Upper: Comparison of horizontal vectors between observed and estimated ones, Lower: Comparison of vertical displacement between observed and estimated ones).



 第8図 GPS 連続観測点における地殻変動データから推定した霧島山の変動源モデル、球状膨張源(茂木 ソース)のみ仮定(2011年2月~2011年8月、上段:水平変動、下段:上下変動)
Fig.8 Source model of Kirishima Volcano estimated from crustal deformation observed by GPS continuous

observation stations around Kirishima Volcano from February 2011 to August 2011, with Mogi sources. (Upper: Comparison of horizontal vectors between observed and estimated ones, Lower: Comparison of vertical displacement between observed and estimated ones).